

令和4年度 第1回 学校運営協議会 会議録（要点記録）

1. 開催日時 2022年4月27日（水） 19時から20時35分
2. 開催場所 天竜中学校 2F 被服室
3. 出席委員 米山英二、渡邊章好、鈴木滋芳、鈴木景子、中村まゆみ
（敬称略） 小枝潤之、木戸京子、匂坂典男、西尾和史、伊藤太一
4. 欠席委員 無
5. 学 校 野秋愛美（校長）、神谷利之（教頭）、廣田憲一（主幹教諭）
佐野正巳（校務アシスタント/CSディレクター）
6. 傍聴者 無
7. 協議事項 （1）令和4年度天竜中学校学校運営方針について 野秋校長
・説明、質疑、熟議、承認
（2）「夢育やらまいか事業」について 神谷教頭
（3）その他
（4）質疑応答
8. 会議録作成 CSディレクター 佐野正巳
9. 会議記録

司会の神谷教頭から、委員数10人のうち10人の出席があり、過半数に達しているため会議が成立している旨の報告があった。

（1）会長の選出及び副会長の指名について

司会から、会長の選出について委員に意見を求めたところ、米山委員から鈴木滋芳委員を会長に推挙する旨の発言があり、全員異議なくこれを承認した。またその後、会長に選任された鈴木滋芳委員から、匂坂委員を副会長に指名する旨の報告があった。

（2）議長の選出について

司会から、議長の選出について委員に意見を求めたところ、米山委員から鈴木滋芳委員を議長に推挙する旨の発言があり、協議の結果、全員異議なくこれを承認した。

（3）協議事項

① 令和4年度天竜中学校運営基本方針について

野秋校長から学校運営方針についての説明あり。

（参考資料）・令和4年度 浜松市立天竜中学校グランドデザイン

- ・レジメ 令和4年度第1回 学校運営協議会
- ・学校運営組織・編成
- ・令和4年度 天竜中学校年間行事表
- ・収支予算書
- ・夢育やらまいか事業に対する意見書（案）

（補足資料）・令和4年度 PTA 活動方針

- ・コミュニティスクールの取り組みについて（案）

<委員各位からの発言>

- ・中学生に地域のいろいろな行事に参加してもらい地域の人間と間近に触れ合って欲しい。（米山）
- ・プライバシーや個人情報の扱いは大切だが個人情報が遮断してしまうといろんな弊害が出てくる。問題のある中学生に周囲の人が気軽に指導できるような環境づくりをお願いしたい。（渡邊）
- ・今年度の学校目標で「夢」の代わりに「志」にしたことに賛同したい。「夢を」では子供達が

いつも「夢」に追いかけてまわされている気がする。外国人が増えている中、「多様性を認め合う」についても大事な言葉だと思う。（鈴木景）

- ・読み聞かせで育った天中生が卒業後もあいさつしてくれてうれしい。活動案で「安間川の桜並木再生プロジェクト」案は地域と中学校が一体で活動できるので期待したい。（中村）
- ・天中のグランドデザインに共感している。今年度のPTA活動方針にCS(コミュニティスクール)活動を入れた。新たな活動として積極的に取り組みたい。（匂坂）
- ・学校教育目標で「主体的に生きる」は「一歩前に踏み出す力」と捉えることができるが、これは2006年に経産省が提唱した社会人基礎力のひとつに挙がっている。社会に出た時の大切な要素としてCSでも意識して活動していきたい。（小枝）
- ・今年度から学校教育目標を「多様性を認め合い 志をもって主体的に生きる 生徒の育成」に変えたことに校長先生の意気込みを感じる。グランドデザインに「子供の成長を支える保護者・地域と学校の連携」とあり地域とのつながりを大切にしていることに共感した。（西尾）
- ・子供との会話から夢を単純な夢と捉えずに(実現可能な)現実的な考えとするように教えてもらった。夢は、語る事ではなく実現可能な目標に置き換えるよう指導してくれた事に感謝したい。（木戸）
- ・グランドデザインが現代社会に合致した内容になっていると感じた。我々の世代は個人よりも集団としていたが、今は個性とか多様性を認めることに重きを置いている。方向性は良いと思う。子供達には例えば単に三角関数を教えるのではなく、それを具体的にどう使うかまで指導して欲しい。（伊藤）
- ・グランドデザインは大変判りやすい。昔は「これをやってどうなるか？」と聞いても、「いいからやっつけ」で終わった。そうするとどうなるかの結果まで教えて欲しい。（鈴木滋）

<野秋校長>

- ・皆さんから多くのご意見をいただき、またグランドデザインを認めていただき感謝申し上げます。渡邊委員からご指摘の個人情報の問題については学校でも非常に苦慮している。子供達には個人情報重大であることとともにそれを大切にしなければいけないこと、悪用されないためにどうすべきかも教えている。また地域と学校の関係についてはうまく結びつくようご意見を頂戴しながら学校でも何が出来るか考えたいと思う。それから「志」について教員には「自分の良さを知って自分を好きになる、そして同時に他者を認めること」を子供達に指導して欲しいと言っている。「一歩前に踏み出すこと」を「志」といい、それは自分のことだけではなく人の為、社会の為になり、結果として自分の為になるんだと教えている。一生懸命やってそれができなかったとしてもそれは問題ではない、大切なのはその後で次の「志」を見つける努力、そして本当にこれだと決まった時にそれを叶えるだけの力をつける場所が中学校だと言っている。子供達には「夢を語る心意気」が大切なのだと、そうした子供達を褒めてあげたいと思っている。

<令和4年度の学校方針についての確認と採決>

委員全員の拍手でもって承認された。

②「夢育やらまいか事業」について

神谷教頭より夢育やらまいか事業予算書とCSの活動テーマ(案)の提案あり。

- ・事業予算書関係 詳細略
夢育やらまいか事業についての初回申請はこの意見書(案)とする事を全委員の賛成で承認した。
- ・レジメP5下段のテーマの「具体的な熟議の例」を参考にCS活動の諸テーマについて次回運営協議会で熟議する事とした。

次の開催予定日： **2022年6月20日(月) 13:20から15:00(予定)** 授業参観を含む

会場：2F被服室

議長は次回も引き続き鈴木滋芳会長にお願いする。